



共に歩んだ 50年を祝う



11月9日、ホテルさつき苑(西原1丁目)で「令和6年度鹿屋市合同金婚式」を執り行いました。これは、結婚50年を迎えた夫婦の金婚と長寿をお祝いするため、市が毎年行っているもの。当日は74組148人が参加し、各夫婦へ祝い状と記念品が贈られたほか、鹿屋農業高校和太鼓部による演奏や日本舞踊、創作演舞といったアトラクションが催され、2人で共に過ごした半世紀を祝いました。

親子で楽しめる キッズイベント



11月3日、霧島ヶ丘公園で「かのやわくわくキッズまつり」が開催されました。これは子どもと一緒に親子で楽しむことができるイベントで、「それいけ!アンパンマン」によるステージショーのほか、ふわふわドームなどの遊びブースや働く車の展示・制服着用体験など、子どもたちが楽しめるブースを設置。当日は約8,000人の人々が訪れ、様々な体験を通して楽しんでいました。

星塚敬愛園の 昔と今を語る



11月10日、リナシティかのやで「ハンセン病問題講演会」が開催されました。これは「NPO法人ハンセン病問題の全面解決を目指して共に歩む会」が主催したもので、星塚敬愛園入所者の上野正子氏や、ハンセン病国家賠償請求訴訟弁護団の徳田靖之弁護士などが登壇。上野氏は「訴訟で力添えをさせていただいた徳田弁護士をはじめ、多くの方に感謝している」と繰り返し述べていました。

襷に思いをのせる ローズヒル駅伝大会



11月10日、霧島ヶ丘公園で「第14回小学校区対抗かのやローズヒル駅伝大会」が開催されました。これは健康づくりや優秀な選手の育成、参加者相互の親睦を図ることを目的に、各小学校区で選抜された小学生・中学生・一般の選手13人1チームで襷をつなぐ大会。今年は14チームが約20kmのコースで健脚を競い合い、寿北小学校区チームが1時間12分55秒で総合優勝に輝きました。



秋の火災予防を啓発 市内をパレード

11月9日、令和6年秋季全国火災予防運動に伴うパレードが実施されました。当日は中央消防署と鹿屋市消防団8分団が13台の消防車両で市街地周辺を巡回。地域の子どもたちなどに秋の火災予防について啓発を行いました。



笠野原小学校の150歳を みんなで祝う

11月9日、笠野原小学校で「創立150周年記念式典」が開催されました。同校は150周年に向けてバルーンリリースや手形アート作成、航空写真による人文字撮影などを行い、式典では6年生による合唱や学校の歩みの紹介などが行われました。



パープルリボンに 思いを込める

11月6日、吾平地域女性団体連絡協議会の福久陽子会長ら3人が市役所を訪れ、「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発に役立ててほしいと、会員が手作りしたパープルリボンのブローチ230個を市に寄贈しました。

